

令和5年度
地域創生総合支援事業

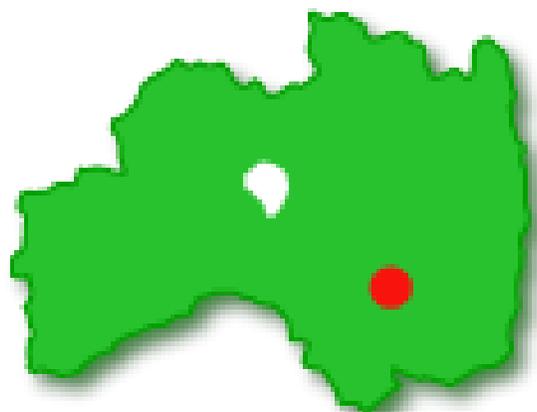
中谷地区活性化事業

中谷地区自治協議会

石川町は福島県の中通り、阿武隈高地の西側に位置している。

人口 13,893人 65歳以上人口 5,493人 高齢化率 39.5%

(令和5年12月1日現在、住民基本台帳より)



地域自治協議会とは

- 自治協議会とは
地域の住民やさまざまな団体がまちづくりについて話し合い、課題解決のために協力しながら活動する、まちづくりの新しいかたちです。
- 自治協議会はおおむね小学校区を活動エリアとして設立されます。
そのエリアであればだれでも活動に参加できます。

中谷地区地域活性化事業

【目的】

中谷地区は、少子高齢化が急速に進み、担い手不足などでの**畑作放棄地**や**空き家**が増え続け大きな問題となっている。
地区内外の方々の野菜・果物等の栽培、商品開発や販売促進を行い、新たな雇用、交流の場所を生み地域の活性化や地区外からの移住を促進する。

【事業計画】

- * 令和5年度…県内外への情報発信。また、休耕地の土壌改良、栽培品種の苗植え、収穫交流イベント（3世代交流、東京圏との地域間交流）
- * 令和6年度…地域の方、高校生、大学生、専門員とともに栽培品種の管理、収穫時に交流イベントを開催。
- * 令和7年度…参加者への移住促進、栽培品種を加工品として地場産品開発。

畑作放棄地を活用し 「ふれあい農園」事業を実施

世代間交流、高齢者の生きがいづくり、
地域の担い手づくりを促進

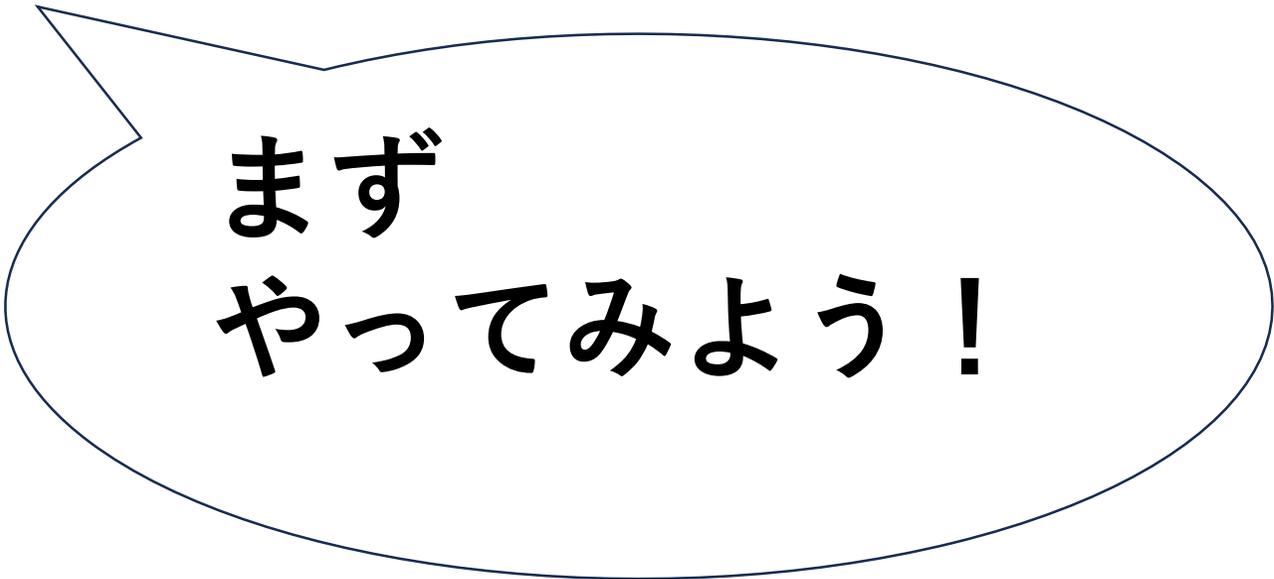
『畑作放棄地が増え、地域の問題になっている。』

もともとは田畑でしたが、所有者がご高齢、また担い手の移住等により、管理が困難なことから、畑作放棄地となり増え続けている。



取り組み一覧

- 1 畑作放棄地の整備
- 2 苗植え交流会に向けての準備
- 3 苗植え交流会



**まず
やってみよう！**

取り組み1 『畑作放棄地の整備、土壌改良』

草刈り、ハウス施工



トラクターでの耕起作業、石灰散布、たい肥散布



取り組み2 『苗植え交流会に向けての準備』

- ・ 看板作り（中谷自治センター所属、子育てサークル（にこっと）協力）
- ・ 畝上げ、マルチかけ、苗準備



取り組み3 『苗植え交流会』

令和5年6月4日 中谷地区自治協議会主催 地域事業部会員、
自治センター関係サークルメンバー、地元ボランティア、
地域おこし協力隊、石川町への移住定住に興味ある方々など、
約50名参加



地元農家（草野 清さん）による、苗の植え方の説明。
ナス、ピーマン、トマト苗植え作業開始





にこっとさんが作成した看板に自分の名前を記入。

※苗植え交流会だけでなく、自分達の植えた苗を育て収穫までする意識を持ってもらうため。



地元農家（鈴木 傳さん）による苗植えの説明。
さつまいも苗植え開始



無事、苗植え交流会終了！



その後、野菜も順調に育っていきました。



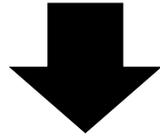
成果

- ・ 整備したことにより、畑作放棄地が交流の場所へ変化。
- ・ 子供から高齢者までの世代間交流ができた。
（子供達の学び、高齢者のいきがい）

※参加した皆さんの、笑顔がとても印象的でした！

課題

- ・参加者のほとんどが、中谷地区在住で、自治協議会に関わりのある方。



新たな繋がりをもちたい。

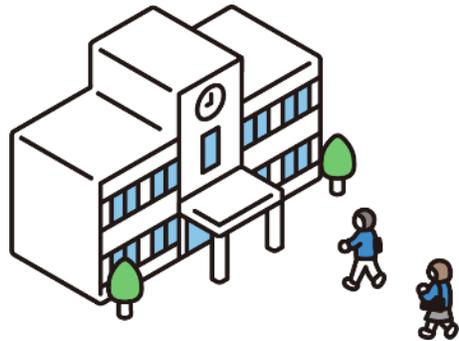
※高校生、大学生、県内外の方など

これまでは地区内の活動に留まっており、

なかなか町内にある高校との連携や、県内外からの来訪はあまりなかった

石川町

町内の公立高校



中谷自治センター



自治協議会

地域事業
部会

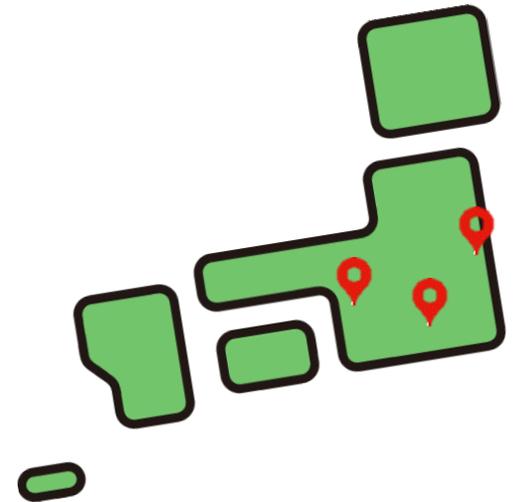
地域安全
部会

まちづくり
部会

福祉
部会

生涯学習
部会

都市圏



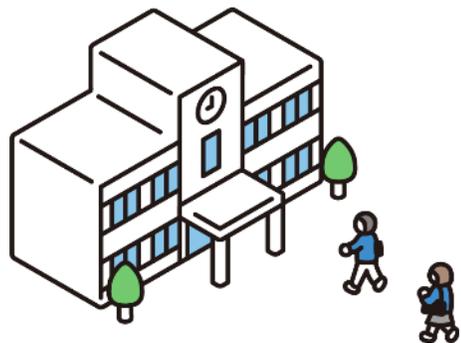
着任した協力隊と関係性を築き、それぞれの活動を聞く中で、
高校生や県外の方々の「声」を知ることができるようになった。

県外大学生

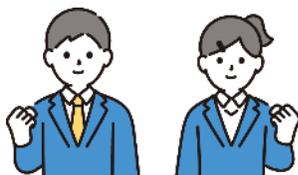


石川町

町内の公立高校



地元食材を使って、
商品開発をしたい!



協力隊
(高校コーディネーター)



中谷自治センター



自治協議会

地域事業
部会

地域安全
部会

まちづくり
部会

福祉
部会

生涯学習
部会

協力隊
(移住定住促進)



都市圏

子どもをのびのび
育てたい!



田舎でのんびり
過ごしてみたい!



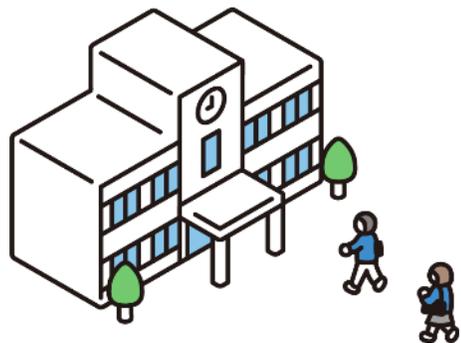
協力隊と協働し、自治センターと高校生の連携事業、都市圏からの移住交流イベント等、
これまでにない**新しい活動の実現へ**と繋がった。

県外大学生



石川町

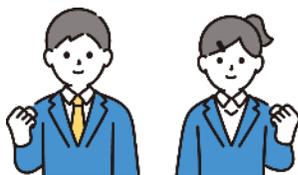
町内の公立高校



協力隊
(高校コーディネーター)



地元食材を使って、
商品開発をしたい!



中谷自治センター



協力隊
(移住定住促進)



自治協議会

地域事業
部会

地域安全
部会

まちづくり
部会

福祉
部会

生涯学習
部会

都市圏

子どもをのびのび
育てたい!



田舎でのんびり
過ごしてみたい!



取り組み一覧

- 1 畑作放棄地の整備
- 2 苗植え交流会に向けての準備
- 3 苗植え交流会
- 4 **県立石川高校との6次化ワークショップ**
- 5 **茨城大学農学部とのワークショップ**
- 6 **収穫&ピザ作り交流会**
- 7 **ワーケーション&サマーキャンプ収穫体験**
- 8 **さつまいも収穫体験交流会**
- 9 **石川文化幼稚園収穫体験**
- 10 **収穫野菜の寄付**

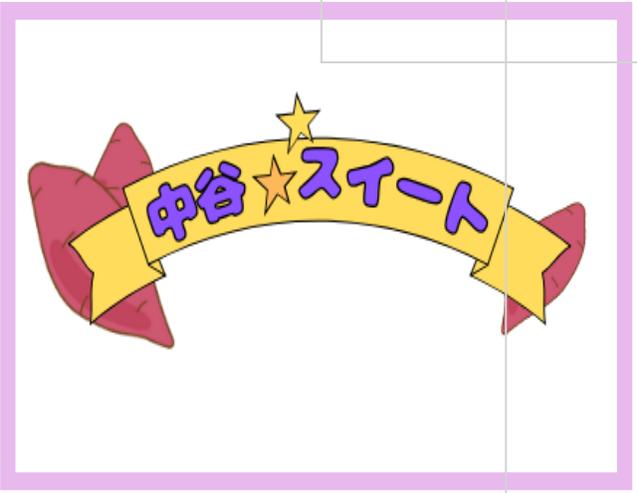
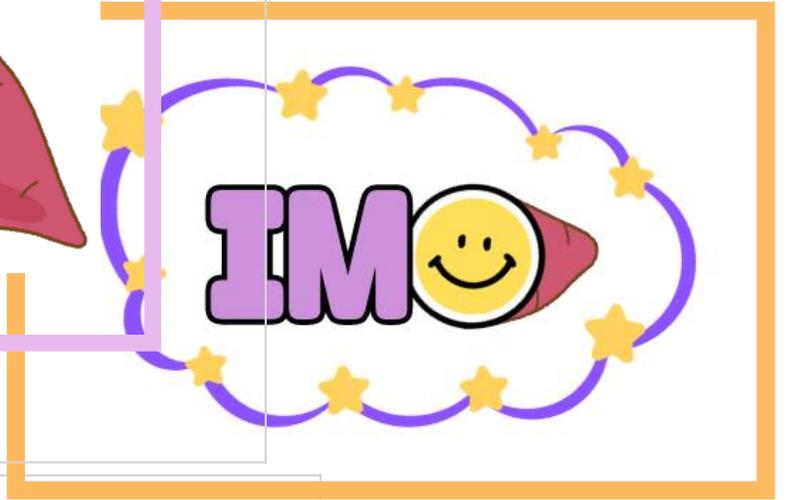
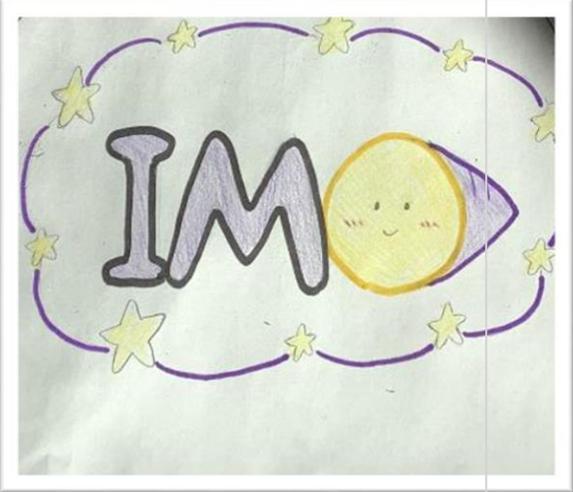
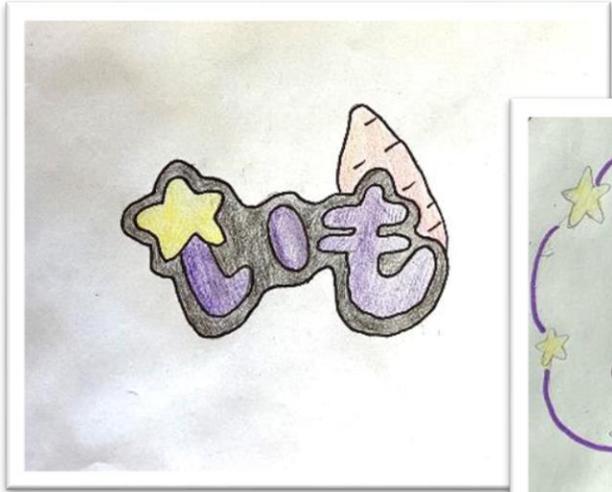
取り組み4

『県立石川高校との6次化ワークショップ』

令和5年8月4日 食に興味がある2年生の生徒さんとの6次化、商品開発についてワークショップ実施。



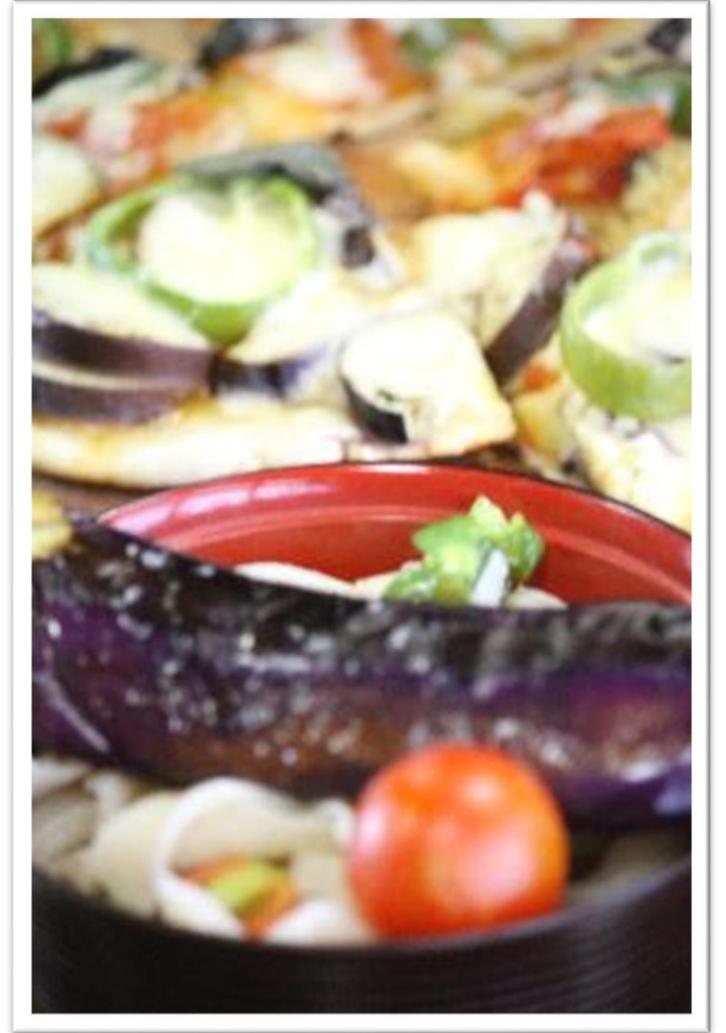
干し芋のラベルデザイン (案)





取り組み5 『茨城大学農学部生とのワークショップ』

令和5年8月12日 落葉、野草などを積んで腐らせた自給肥料（コンポスト）等野菜作りの循環についての話し合いや、小麦粉を使った料理作りを行いました。



取り組み6 『収穫&ピザづくり体験交流会』

令和5年8月5日 前回の苗植え交流会参加者を中心に収穫とピザづくりを実施。



自分達で苗を植え、収穫した野菜でのピザづくりに大盛り上がり！



有松さん（地域事業部会長） 所有のピザ窯大活躍！



収穫、ピザ作り交流会終了。
その後、移動し、さつまいも畑の電気柵取り付け。
ハードなスケジュールも皆さんご協力頂きました🍷



取り組み 7

『ワーケーション&サマーキャンプ収穫体験』

令和5年7月28日 県外の方含め20名参加



取り組み 8

『さつまいも収穫体験交流会（石川町関係人口創出事業）との タイアップ』

令和5年11月4日 地元の方、埼玉県、千葉県、宮城県のご家族や福島大学の学生さん等、
約30名参加。



サツマイモ重さコンテストを行い、埼玉県から参加してくれた
千葉 あおばちゃんが優勝！！ とても嬉しそうでした。



取り組み9 『石川文化幼稚園収穫体験』

令和5年11月9日 石川文化幼稚園の皆さんが、地元農家（鈴木 傳さん）に掘りかたを教えてもらい上手に収穫できました。



取り組み10 『収穫野菜の寄付』

石川町の子供食堂、学校、介護施設等への寄付を行いました。
子ども食堂から、収穫体験の依頼も有り。



初年度の成果

世代間交流・生きがい

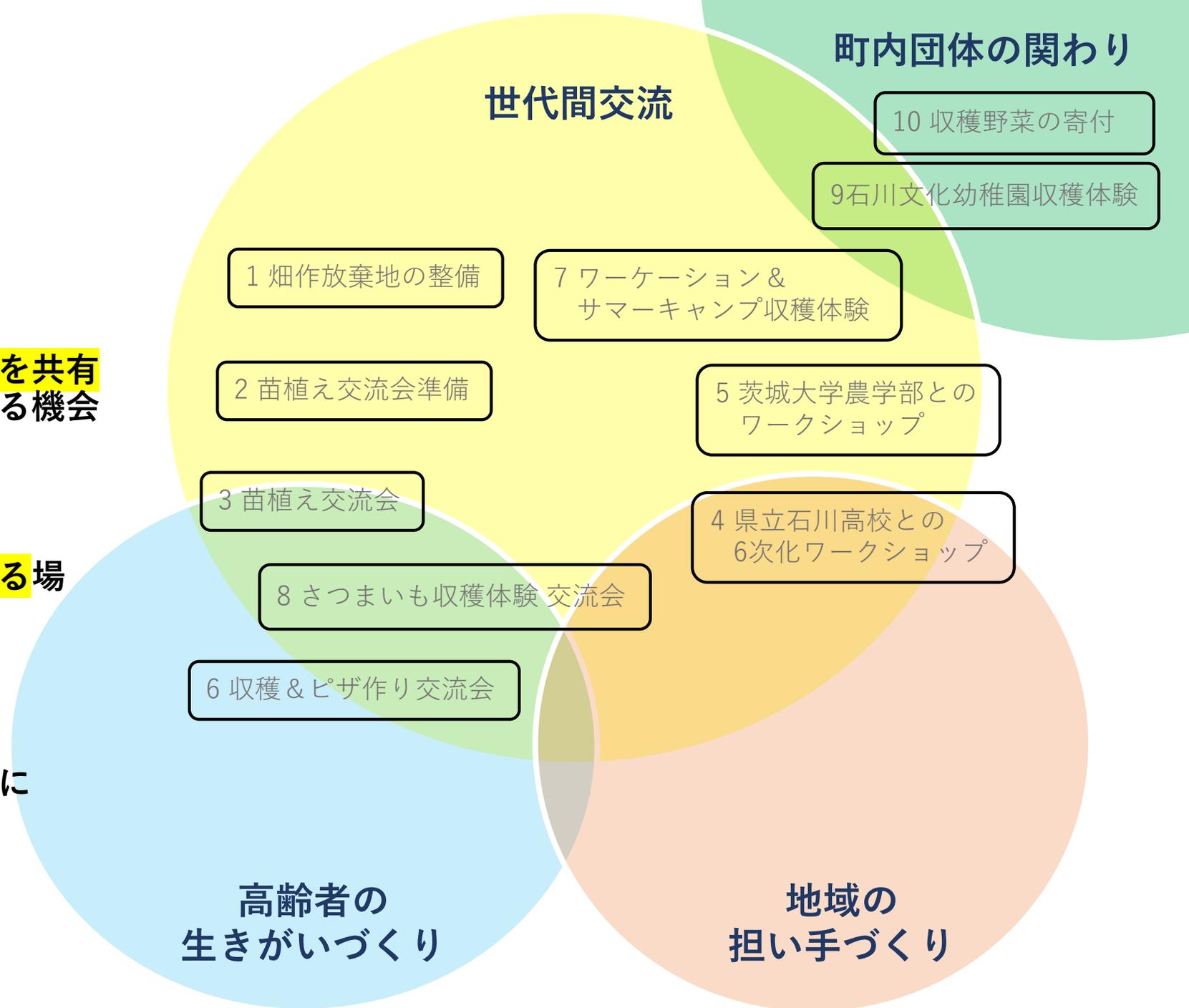
- ・若者、高齢者の3世代をつなぐ場
- ・食べ物や収穫を通して楽しい時間を共有
- ・高齢者が子どもたちに農業を教える機会

担い手づくり

- ・中谷地区に高校生・大学生が関わる場

町内外の関わり

- ・中谷地区の活動を町内に発信
- ・町内の団体から、依頼が来るように



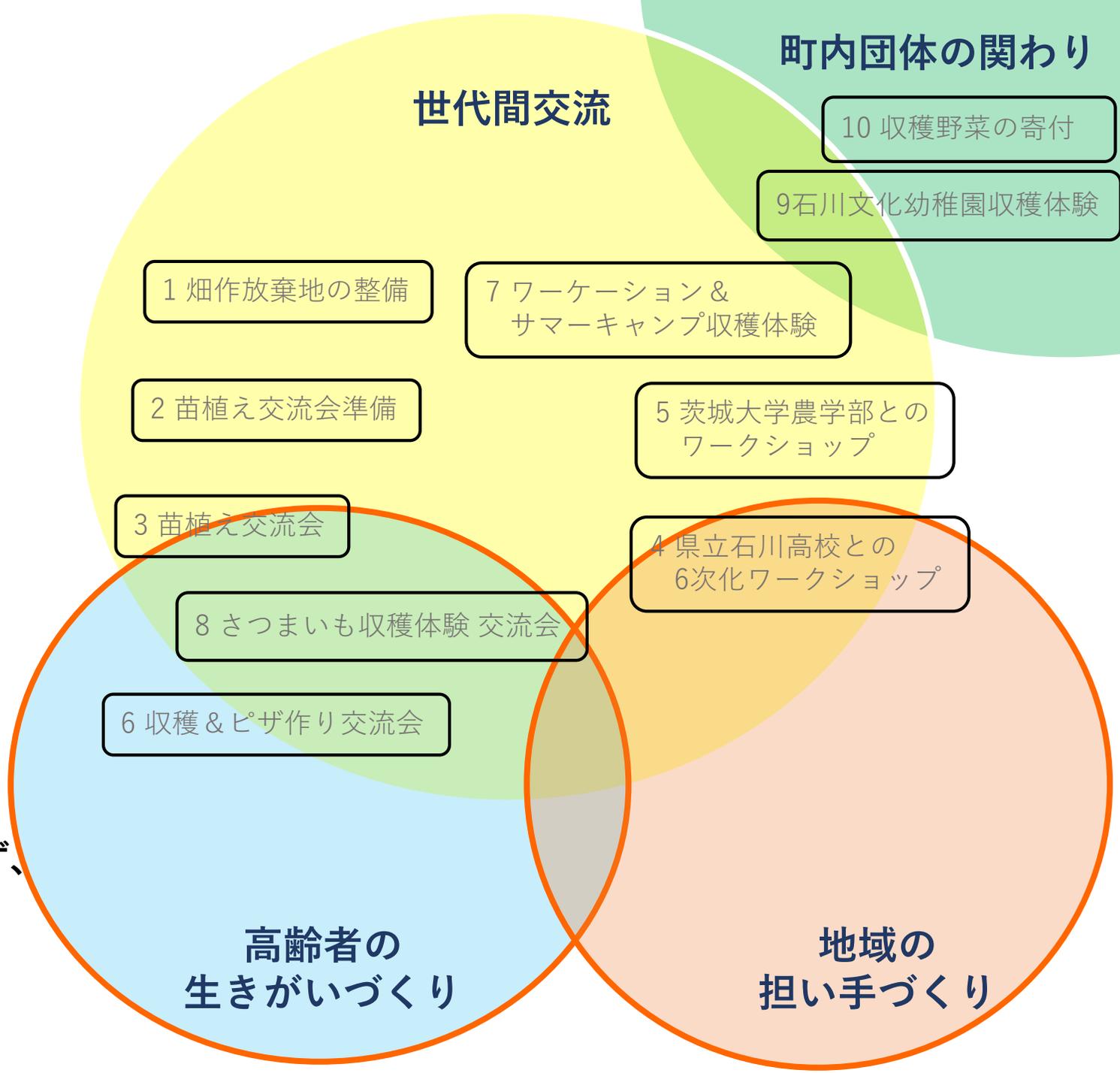
課題と今後の展望

高齢者の生きがいづくり

- ・世代間交流の場を作りながら、**高齢者が主体となって企画等を運営できる機会**を作りたい。

地域の担い手づくり

- ・小中学生との交流の際に、**地域の方のお仕事紹介を盛り込むなど、町内の大人のことを知ってもらう機会**を作りたい。
- ・高校生との商品開発を実現させ、**高校生にとっての成功体験を地域で作る。**
→地域へ関わりたいと思うきっかけに！
- ・大学生、**県外の方の交流を1回限りにせず、「リピーター」として何度も訪れてくれる関係人口**→移住定住に繋げていく。



全世代が、住みたくなる、住み続けたくなる
中谷（石川町）を目指します。





ご清聴

ありがとう

ございました

